

## 丹波市第4次行革プラン(骨子案)

### I 行政改革の推進について

#### 1 策定の趣旨

・行政改革の必要性を記載

#### 2 計画の位置づけ

・将来にわたる安定した行財政基盤の確立

## 第3次丹波市総合計画

### 基本構想

#### 将来像

まなび ときめく 丹(まごころ)の里 ～しあわせ輝く みんなの未来へ～

#### まちづくりの目標

- |                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| 1 【こども政策】楽しむ心がのびのびと育つまち | 2 【活躍政策】多様な個性が創るまち        |
| 3 【安全・安心政策】みんなでのちを守るまち  | 4 【健康福祉政策】すこやかでしあわせに生きるまち |
| 5 【産業政策】産業がつながり活力があるまち  | 6 【くらしの基盤政策】便利で快適に暮らせるまち  |
| 7 【環境政策】自然と生きる環境にやさしいまち | 8 【行財政政策】市民に開かれた行政を推進するまち |

まちづくり目標の1つ

#### 8 【行財政政策】市民に開かれた行政を推進するまち

市民と行政が情報を共有し、みんなのしあわせを実現するために、互いの意見を尊重しながら、柔軟で、効率的かつ効果的な行財政運営を行うまちをめざします。

各種分野別計画の1つ

## 第4次丹波市行革プラン

#### 3 計画期間

・令和7年度～令和16年度(10年間)

#### 4 推進体制

全職員が本プランの目的と内容を理解し、全庁的な取組とするとともに、改革を推進していくための庁内推進組織として「丹波市行政改革推進本部」を設置し、職員の行革マインドを喚起するとともに、改革すべき事案の検討や調整を行うため、本部にプロジェクトチームを設置し、進捗管理を行います。

#### 5 検証

・検証結果を記載

## Ⅱ 基本方針

### 基本方針1 新たな活力創造に向けた様々な主体との連携

- (1) 多様な主体との連携・協働
- (2) 民間の得意分野を活かした課題解決

### 基本方針2 未来を創造する健全な行財政の確立

- (1) 市民サービスの維持・充実に向けた自主財源の確保
  - ① 確実かつ有利な資金運用
  - ② 国県をはじめ有効かつ有利な財源の積極的な活用
- (2) 業務改善が継続する仕組みの構築
  - ① 効果的、効率化を常に意識した業務の遂行
  - ② フロントヤード改革による市民サービスの向上

### 基本方針3 行政機能の最適化を見据えた適切な公共施設マネジメントの確立

- (1) 庁舎整備の検討
  - ① 本庁舎のあり方
  - ② 支所のあり方
- (2) 将来を見据えた公共施設マネジメント
  - ① 包括施設管理の実施
  - ② 指定管理者制度の見直し

### 基本方針4 働きやすい環境づくりと意欲・能力を伸ばす人材育成

- (1) ワーク・ライフ・バランスや円滑なコミュニケーションを意識した環境づくり
- (2) 職員の意欲・能力を伸ばす人材育成

基本方針の順番を意識しないイメージ（案）

